

S		<p>スタート/ゴール 青梅駅 青梅観光案内所前</p> <p>スタート/ゴール青梅駅前</p>	<p>15</p> 	<p>鮎美橋 東側</p> <p>East Side of Ayumi Bridge/市内の釜の淵公園に掛かる橋の一つ。橋の上からは、蛇行する多摩川が一望できダイナミックな景色が楽しめる。</p>	<p>28</p> 	<p>金剛寺の青梅由来の木</p> <p>Kongoji Temple/平将門の伝説を持つ古木。この梅は黄熟せず落実まで青く「青梅」と呼ばれ、市の名称もこれによって付けられたと言われ、青梅市の象徴でもある木。</p>	<p>40</p> 	<p>キンカチョウ</p> <p>この住宅街の道角にキンカチョウをたくさん発見!かわいい!スズメの仲間では雄は頬が橙色で胸部に縞模様がある。</p>
5		<p>青梅クレープ</p> <p>Ome Crepe/グルテンフリーの米粉と豆乳で作った手作りカスタードや青梅産の深美卵など、厳選した材料を使うこだわりのクレープ屋さん。近くにはクレープの自動販売機も。</p>	<p>17</p> 	<p>青梅商工会議所</p> <p>Ome Chamber of Commerce and Industry/青梅の町を盛り上げよう!と青梅まちロゲ大会を立ち上げ主催。</p>	<p>31</p> 	<p>多摩川右岸 海から61km</p> <p>Tama River - 61km to Tokyo Bay/山梨・埼玉の県境にある笠取山を源流とし奥多摩湖から流れ出る多摩川は、全長138kmの一級河川。ここから海まであと61km!</p>	<p>43</p> 	<p>雪女の地碑</p> <p>Snow Woman Monument/かの有名な小泉八雲の小説「雪女」は、じつはここ旧調布村が舞台。昔は橋がなく多摩川を渡し舟で渡っていた。八雲が調布村出身の使用人親子から聞いた話が元となっている。</p>
7		<p>「うめや」でハイカラ気分</p> <p>創業1911年(明治44年)の老舗化粧品店。100年以上も青梅のハイカラな女性たちが美しくなるお手伝いをしてきた。資生堂パーラーのスイーツも販売。</p>	<p>19</p> 	<p>猫が人気の住吉神社</p> <p>Sumiyoshi Shrine/住吉神社では市内最大の青梅大祭が行われている。また、招福招き猫「猫祖神」や猫の印の御朱印が人気。「大黒天猫」と「恵比寿猫」もこの神社にいますので探してみてくださいね!</p>	<p>33</p> 	<p>青梅市立美術館</p> <p>Ome Municipal Museum of Art/昭和初期に活躍した洋画家、小島善太郎の作品や近現代の日本画、洋画、版画を約2,200点收藏、展示している美術館。テラスガーデンからの眺望も素敵。</p>	<p>50</p> 	<p>ちょっと探しくいかも、駒木野遺跡</p> <p>え、こんなところに!?じつは青梅エリアには縄文時代の遺跡が多く、こちらは今からおよそ4500年前の住居群遺跡。出土した縄文土器は有形文化財に指定された。</p>
9		<p>旧稲葉家住宅</p> <p>Inaba Family Historical Home / 宿場町として栄えた江戸時代の青梅宿にタイムスリップするなら旧稲葉家へ!奥多摩の材木や当時人気の青梅縞の織物の問屋を営んでいた青梅有数の豪商の旧宅。</p>	<p>20</p> 	<p>七兵衛地蔵尊</p> <p>裏宿七兵衛は江戸時代に青梅村に実在した義賊だった。後に七兵衛を偲んで建てられた地蔵尊には、足の速い七兵衛にあやかり、今でも足腰の健康や交通安全を願う人々が訪れる。</p>	<p>35</p> 	<p>maru.+BEANSカフェ</p> <p>店名の通りメニューはすべて「豆」を使ったもの!昨年オープンしたばかり。一見すると外観は普通の民家だが、店内は吹き抜けで解放感があり木のぬくもりを感じる素敵なカフェ。</p>	<p>F</p> 	<p>スタート/ゴール 青梅駅 青梅観光案内所前</p> <p>スタート/ゴール青梅駅前</p>
11		<p>万年橋 記念碑</p> <p>それまで渡し舟に頼っていたここ大柳地区に橋が架けられたのは1897年で、戦前までは日本最長の木造アーチ橋だった。3代目の現在の橋は2005年架橋のコンクリート製アーチ橋。</p>	<p>23</p> 	<p>男井戸 女井戸</p> <p>Oido Meido/親切な地元百姓夫婦が弘法大師のために多摩川にわざわざ水を汲みに行き「それでは不便であろう」と、大師が持っていた杖で地面を叩きこの2カ所から水が湧き出した。</p>	<p>37</p> 	<p>正一久平稲荷神社</p> <p>Kyubei Inari Shrine/1700年代後半に創祀されたと伝えられるお稲荷様。山の中腹のうっそうとした林の中に隠れるように建てられ、鮮やかな赤い鳥居とのコントラストが印象的。</p>		
13		<p>延命寺</p> <p>Enmeiji Temple (Daikokuuten)/1369年建立の臨済宗の古刹。本堂内には米俵に乗り大きな袋と打出小槌を携えた大黒天が祀られていて、多摩青梅七福神の一つとして知られており、いつも参拝客が絶えない。</p>	<p>26</p> 	<p>西分神社のハートストーン</p> <p>Heartstone of Nishibu Shrine/西分神社の階段にさりげなく埋め込まれているかわいいハート型の石を見つけちゃった!探してみてくださいね。</p>	<p>38</p> 	<p>スイスイ伸び伸びと泳ぐ若鮎の像</p> <p>多摩川のこの場所で日本で初めて鮎の放流に成功し、その記念として彫刻家・松野伍秀作の「若鮎の像」が建てられた。今も川に鮎が毎年放流され、鮎釣りの名所である。</p>		 